

令和6年度秋田県高等学校教育研究会 保健体育部会研究協議会

主題「生徒の主体的な活動を重視した授業づくりの在り方について」

第1分科会 体育

「見方・考え方を捉え、楽しさや喜びから運動の大切さに気付く指導の充実」



秋田県立新屋高等学校保健体育科
山崎 洵

本校の概要①

全校生徒481名(男子211名、女子270名)

1学年4学級(普通科4クラス、教養コース1、文系2、理系1)
(*現3年生は5クラス(教養1、文3、理1、来年度より全学年4学級へ)

学校の重点目標「本気で挑戦し続ける新屋高校」「本気で挑戦」

- (1)規律正しく行動のできる心豊かな生徒を育てる。
- (2)課題を持ち、主体的に学習する生徒を育てる。
- (3)生徒会活動と部活動の充実を図り、新進ともに健全な生徒を育てる。
- (4)キャリア教育の充実を図り、自己の進路目標に真剣に取り組む生徒を育てる。

本校の概要②(生徒の様子)

非常に活発な生徒が多く、運動やスポーツに好意的な生徒が多い。

一方で、運動を苦手と感じている生徒も一定数に籍しており、二極化傾向が見られる場面がある。

生徒はとても素直であり、明るく何事にも一生懸命な生徒が多い。全体的に幼い印象が強く、**思考よりも感情を優先してしまう**など、集団としての動きが苦手な傾向があるため、知識・技能の定着に時間がかかる。

また、自分に自信がない生徒が多く、**主体的に何かを発信したり、先を見通して動いたりすることが苦手**という課題がある。

本校保健体育科の取組

○多様な選択種目を開講

フットサル、バドミントン、卓球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、ソフトボール、ダンス、剣道など

○男女共習の推進

SDGs パートナリーシップ校としての取組(種目の特性は考慮)

○授業を通じたICTの利用

(動画視聴、振り返り・事前アンケート等)

Chromebook,classroomを活用して生徒へのフィードバックを意識。

新屋高校生の体育授業の様子(改善したい箇所)

○思考が働く場面が少なく、感情を優先してしまう

→「なぜそうなるのか」や「どうすれば良くなるか・・・」といった思考を働かせることが苦手で、表面的な事象で判断してしまう。

Ex)「先生、今の入ったよね!」や「うまくいかないからつまらない・・・」など。

○思っているも主体的に発信できないなど、対人のコミュニケーションに消極的な面がある(面倒くさがり、失敗するのが怖い)

→発言やプレーで目立つのが怖いから、人を見てから動くことが多い。他人の目、評価を気にすることが多い。(言葉など)

第1分科会(体育)の目標の確認と内容検討

生徒の主体的な活動を重視した授業づくりの在り方について
「①見方・考え方を捉え、②楽しさや喜びから運動の大切さに気付く指導の充実」

○生徒が主体的に課題を抽出し、解決に向かう活動であること
→自身の運動課題に**気付く**場面設定が設けられていること(①)

○意欲を持って継続的に取り組むことができる活動であること
→研究が単発の取り組みで終わらないことを意識すること(②)

○「できるようになった」が実感できる活動であること
→達成感、PDCAサイクルを実感できるしなげを意識すること(②)

実践内容①（概要）

- 領域：球技ネット型(バレーボール)
- 対象：2年D組(普通科理系、男子17名、女子21名)
- 期間：9月下旬～12月上旬(16時間)
- 事前アンケート、中間アンケート、振り返りアンケート (GoogleFormにより実施、ClassRoomで共有) 実施

実践内容②（具体的内容）

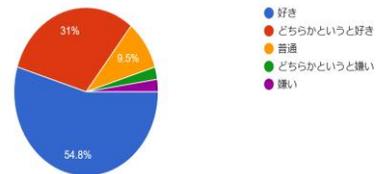
- ①1～5班のグループ編成を行う。(男女共習)
- ②ゲームを実施、撮影した動画を基にして班の技能課題を抽出
- ③課題を解決するための練習方法をYouTubeで各自調査、Roomで共有、練習を実施→反省・・・今回はこの過程を2回実施
- ④アンケートでの振り返りと活動で得た内容を今後どう生かしていくかの方法の模索

実践内容選定のきっかけ

- ①先輩教諭との雑談の中からヒントをいただいたこと
- ②ICTの使い方に慣れを感じたこととクラスの生徒の会話
- ③自身の部活動の指導を見つめなおして気付いたこと
- ④手軽でかつ継続的な活動にしたかったこと
- ⑤社会に出たときに必要な能力・姿勢が身に付くから

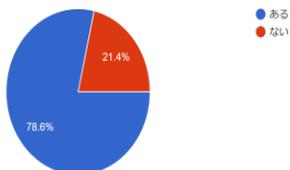
事前アンケート①（一部抜粋）

バレーボールは好きですか？
42件の回答



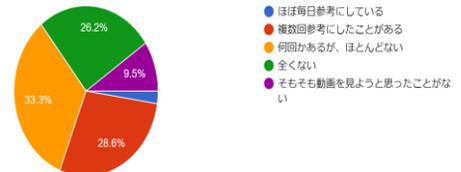
事前アンケート②（一部抜粋）

直したいところはわかるけどどう直せばよいか...とはありますか？ (=練習方法がわからない)
42件の回答



事前アンケート③（一部抜粋）

YouTubeで動画をみて動きを参考にしましたが...部活動の競技で経験がある人はそれでもOKです！
42件の回答



授業の様子 (初期)



課題抽出 (1回目) →各班で共有 (Classroom) →練習方法探索

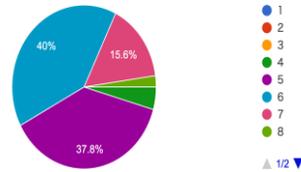


授業の様子 (初期) * 課題選定 →各班練習



中間アンケートより① (一部抜粋)

1. あなたの現時点でのバレーボールの技能段階を...を3として、変化した段階を教えてください。(45件の回答)



中間アンケートより② (一部抜粋)

○成長した理由の分析 (生徒の投稿より一部抜粋)

- ・サーブが結構入るようになった。また、youtubeをみて三段攻撃を意識してゲームをすることができるようになった。
- ・**動画でコツを学んで掴むことができ**サーブの威力や安定性が上がったから。また、オーバーハンドを使えるようになり**攻撃がつながって楽しくなった。**
- ・バレー経験者のチームメイトにサーブの**コツを教えてもらい**前よりも多く入るようになった。
- ・ただボールを拾って上げるだけでなく**どう点数を取ればいいのか考えながらプレイ**できるようになった。

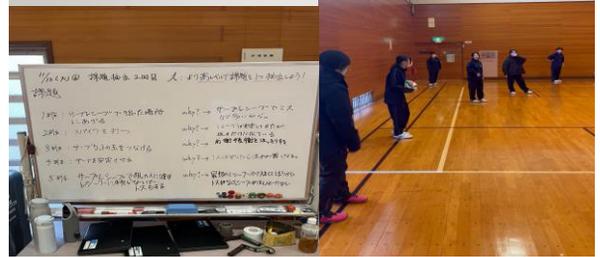
授業の様子① (中期→後期にかけて)



授業の様子② (中期→後期にかけて)



授業の様子③ (中期→後期にかけて)



授業の様子④ (中期→後期にかけて)

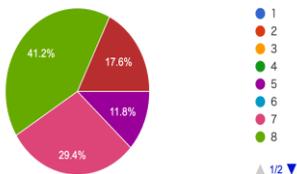


学習シートより (生徒が書く授業終わりに記入)

ここに生徒が記入する学習シートの写真を添付予定です。

授業の振り返りアンケートより① (一部抜粋)

1. バレーボールの授業を振り返って、あなたの現...を3として、変化した段階を答えてください。
17件の回答



授業の振り返りアンケートより② (一部抜粋)

○YouTubeの動画を活用してみて、思ったことや感じたこと(生徒の投稿より一部抜粋)

- ・今までは完成像というかゴールが分かりづらかったけれど、動画を見ることで何が自分に足りていないのがはっきりわかって良かった。
- ・正直最初はめんどくさいと思っていたが、動画を見て実践出来たら見て良かったなと思った。苦手なことは動画を見ることで自分の苦手が克服できると分かった。
- ・意欲差があることによってYouTubeの動画の活用率が人によってちがうと思った。

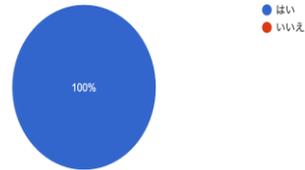
授業の振り返りアンケートより③ (一部抜粋)

○今回の取組を次回の授業に生かすとすればどのような取り組みができるか、考えたことを自由に記述(生徒の投稿より一部抜粋)

- ・YouTube動画を参考にして自分の動きと比較し、改善点を見つける。ノートに軽くまとめると視覚化されてわかりやすくなると思う。
- ・できないことをしっかり文字化する→それをどうしたら改善できるか動画を見る→練習で動画で活かせると思った点を実践する
- ・友達同士で教え合う時間をもうける
- ・アタックのジャンプを応用し高い位置のシャトルを打てるようにすること→次の授業のことを考え始めているな・・・

授業の振り返りアンケートより④

バレーボールは好きですか？
17件の回答



今回の授業研究を振り返ってみて感じたこと

- 動画を活用するのに思ったより時間がかからないこと。
- 生徒の単語に変化が・・・ex)ボールに回転かけるには・・・
- 明らかに技能が伸びた→個人差はあるがとにかく楽しそうな場面が増えた→*「できるようになる」の実感?
- 思考の場面が確保されていれば、理解は進むこと。
- グループ編成には工夫が必要*これが一番重要では??
- 言葉かけに工夫→タイムリーな「ほめる」「なんで?」

成果と課題①

- 成果
 - ・基礎技能の定着が進んだ(動画の活用による視覚的アプローチ)
 - ・競技に対する意欲の高まり(動画を活用すると動きのコツが分かりやすい→「できるようになる」の実感につながりやすい)
 - ・思考の重要性の再確認(理論を知ることで、感覚をつかむ→「考える大切さ」への気づきにつながる)
 - ・検索力が身につく(客観視)→自動化への一歩目につながる
 - ・主体性や発信力(コミュニケーションの一助にも)が身に付く
 - ・知識が増える→スポーツに対するかかわり方が変わるex)運動が苦手でも「見る」「支える」につながる

成果と課題②

- 課題
 - ・運動時間確保との兼ね合い(計画の重要性)
 - ・二極化が進む可能性もある
 - ・場所の確保が難しい(練習場所)
 - ・活動をどう評価していくか
 - 今回はアンケートや学習シート、技能の観察、技能テストとしたが、もっと適した評価方法はないのか?
 - ・用具の不足→生徒が求める用具がない場合もあった
 - ・他の媒体はないのか?→動画サイト以外の活用

授業研究を終えて

○今回はYouTubeを活用し、授業を行った。印象的なのは生徒が主体的に動いてくれたことと楽しそうに授業に参加するようになったことである。もちろん個人差はあるだろうが、運動やスポーツが楽しいと思えるきっかけになってくれれば良いなと感じている。生徒が自分の弱点を分析し、その改善のための練習方法を見極めて選び、「当てはめる」。情報が溢れかえっている現代だからこそできることであるが、そこに面白さと難しさがあるようにも感じた。ここで身に付けた考え方を部活動や実社会に出た際に生かしてもらえるとありがたいと感じている。